



(財)財務会計基準機構会員

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 27 日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長(氏名)滝沢 三規
 問合せ先責任者 (役職名)管理部 長(氏名)吉野 利彦 TEL : (048) 710 - 4800

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	3,126	34.5	300	103.1	334	863.6	566	
19年3月期第1四半期	4,775	20.1	148	43.0	34	85.0	41	75.8
19年3月期	16,336		1,295		1,239		9,711	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	6.07	
19年3月期第1四半期	1.08	
19年3月期	145.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	10,966	5,039	46.0	54.00
19年3月期第1四半期	16,697	7,877	47.2	203.02
19年3月期	10,976	4,522	41.2	48.46

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	506	17	18	3,418
19年3月期第1四半期	1,317	38	467	2,093
19年3月期	2,545	5,690	3,134	3,926

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	円	銭
19年3月期第1四半期	0	0
20年3月期第1四半期	0	0

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	6,770	21.8	350	26.3	330	46.0	550	93.5		6.32
通期	14,500	11.2	990	23.6	950	23.4	1,180	87.8		12.64

(注) 第 1 四半期の実績を踏まえ、平成 19 年 5 月 15 日に発表いたしました業績予想を見直した結果、修正は行わないことといたしました。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における業績予想等の将来に関する記述等は、本資料作成時点で当社が把握・認識しております情報等に基づき、当社が合理的であると判断した内容です。

従って、当社グループの事業領域を巡る経済情勢、市場動向等の大幅な変動等、当社の想定する範囲を超えた会社内外の状況変化により、実際の業績が、結果として本資料における業績予想と違ったものとなる可能性があります。

なお、業績予想等の根拠並びにその変動の可能性と要因等については、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の売上高は 31 億 26 百万円（前年同期比 34.5%減：事業譲渡した光学部門の売上を除くと 26.5%減）、営業利益は 3 億円（前年同期比 103.1%増：事業譲渡した光学部門の営業損失を除くと 18.7%減）となりました。

その内訳ですが、まず電子機器事業部門は、主要製品であるパチンコ台間玉貸機の価格競争及びシェア争いが激化する中、パチンコ玉貸機ユニットの売上は前期同様に推移したものの、メダル貸機の売上は、パチスロ規制強化の影響による買い控え等により、伸び悩みました。

この結果、電子機器事業部門の売上高は 22 億 24 百万円（前年同期比 35.7%減）、営業利益は 1 億 63 百万円（前年同期比 49.2%減）と、共に概ね事業計画通りではあるものの、前年同期との比較では大幅に減少しました。

一方スポーツ事業部門は、好調な海外部門が業績を下支えし、前年同期比で増収増益となりました。米国 PGA ツアーで好評の Proforce V2 の販売が、国内外共に極めて好調に推移する中で、各種材料価格の高騰及びカーボン材料の不足といった厳しい客観情勢の下、OEM 販売先を絞り込むことにより利益の確保に努めた結果、海外部門において利益が大幅に増加しました。

この結果、スポーツ事業部門の売上高は 9 億 2 百万円（前年同期比 13.3%増）、営業利益は 1 億 37 百万円（前年同期比 185.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 1 四半期末の総資産は 109 億 66 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 10 百万円減少いたしました。

流動資産は 100 億 51 百万円となり、1 億 57 百万円増加いたしました。

固定資産は 9 億 15 百万円となり、1 億 66 百万円減少いたしました。

当第 1 四半期末の負債総額は 59 億 27 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5 億 27 百万円減少いたしました。

流動負債は 37 億 10 百万円となり、5 億 44 百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が 5 億 21 百万円減少したこととあります。

固定負債は 22 億 17 百万円となり、18 百万円増加いたしました。

当第 1 四半期末の純資産合計は 50 億 39 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5 億 17 百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が 5 億 66 百万円増加したこととあります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ 4.8 ポイント増加し、46.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、34 億 18 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5 億 8 百万円減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が 6 億 2 百万円となりましたが、売上債権やたな卸資産の増加、仕入債務が減少したことなどにより 5 億 6 百万円の資金の使用となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の解約などにより 17 百万円の資金の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済により 18 百万円の資金の使用となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期は、利益面では当初の計画を上回って推移しておりますため、平成 19 年 5 月 15 日に発表いたしました平成 20 年度中間期及び通期業績予想につき、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき見直しを行いました。

しかしながら、パチスロ規制問題の推移をはじめとするパチンコ業界における業況の見通しが依然として不透明な中、その動向が当社の主力製品であるパチンコ周辺機器の OEM 販売に与える影響が想定し難いことを踏まえ、当該業績予想の変更は行わないこととします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少な項目につき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得する有形固定資産については、改正法人税法の規定に従い減価償却費を計上しております。また、役員退職慰労金につき、従来は、支出時に費用計上しておりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」が公表されたことに伴い、当連結会計年度より、役員退職慰労引当金を計上しております。

なお、これらの変更に伴う、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	2,139	3,418			3,936
受取手形及び売掛金	3,981	3,755			3,688
たな卸資産	4,386	1,959			1,691
その他	521	918			578
流動資産合計	11,028	10,051	977	8.9	9,894
固定資産					
有形固定資産	3,927	602			630
無形固定資産	60	12			12
投資その他の資産	1,680	301			438
固定資産合計	5,668	915	4,752	83.8	1,081
資産合計	16,697	10,966	5,730	34.3	10,976
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	4,046	2,780			3,301
短期借入金	11,615	567			585
未払法人税等	10	38			28
その他	5,172	324			339
流動負債合計	20,845	3,710	17,135	82.2	4,254
固定負債					
長期借入金	2,182	1,630			1,630
退職給付引当金	1,351	486			505
その他	194	100			63
固定負債合計	3,728	2,217	1,510	40.5	2,199
負債合計	24,574	5,927	18,646	75.9	6,454
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	2,958	3,958			3,958
利益剰余金	11,426	784			217
自己株式	25	27			27
株主資本合計	8,493	4,715	13,208	-	4,149
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	188	-			-
為替換算調整勘定	428	324			373
評価・換算差額等合計	616	324	292	47.4	373
純資産合計	7,877	5,039	12,916	-	4,522
負債、純資産合計	16,697	10,966	5,730	34.3	10,976

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 前期 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	4,775	3,126	1,648	34.5	16,336
売上原価	3,741	2,190	1,550	41.5	12,255
売上総利益	1,033	936	97	9.4	4,081
販売費及び 一般管理費	885	635	250	28.2	2,786
営業利益	148	300	152	103.1	1,295
営業外収益	18	71	53	288.0	247
受取利息及び 配当金	3	5	1		11
その他	14	66	51		235
営業外費用	131	37	94	71.5	303
支払利息	89	13	76		214
その他	41	23	18		88
経常利益	34	334	300	863.6	1,239
特別利益	7	302	295	-	9,118
特別損失	-	35	35	-	558
税金等調整前 四半期(当期) 純利益	41	602	560	-	9,799
税金費用	0	35	35	-	87
四半期(当期) 純利益	41	566	524	-	9,711

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	41	602	9,799
減価償却費	79	23	201
事業譲渡損失等引当金の増減額 (減少：)	156	-	4,781
投資有価証券売却益	6	299	559
売上債権の増減額(増加：)	504	78	199
たな卸資産の増減額(増加：)	246	282	2,464
仕入債務の増減額(減少：)	352	512	1,104
その他	24	74	8,078
小 計	1,168	472	2,257
利息及び配当金の受領額	3	5	11
利息の支払額	110	14	208
法人税等の支払額	41	25	91
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,317	506	2,545
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の売却による収入	13	1	4,355
有形固定資産の取得による支出	9	1	169
定期預金の新規預入による支出	3	-	12
定期預金の解約による収入	12	10	56
その他	51	7	1,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	17	5,690
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期(短期)借入金の返済による支出	465	18	6,130
新株の発行による収入	-	-	2,999
その他	1	0	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	467	18	3,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0	1
現金及び現金同等物の増減額 (減少：)	1,825	508	8
現金及び現金同等物の期首残高	3,918	3,926	3,918
現金及び現金同等物の期末残高	2,093	3,418	3,926

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)

(単位:百万円)

	電子機器事業	スポーツ事業	光学機器事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	3,460	796	518	4,775	-	4,775
営業費用	3,138	748	740	4,627	-	4,627
営業利益	321	48	221	148	-	148

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)

(単位:百万円)

	電子機器事業	スポーツ事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	2,224	902	3,126	-	3,126
営業費用	2,060	765	2,826	-	2,826
営業利益	163	137	300	-	300

(注)光学機器事業は、平成 18 年 9 月 1 日付で事業譲渡いたしました。

(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)

(単位:百万円)

	電子機器事業	スポーツ事業	光学機器事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	12,399	3,177	759	16,336	-	16,336
営業費用	11,101	2,872	1,066	15,041	-	15,041
営業利益	1,297	305	307	1,295	-	1,295

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は は全社	連結
売上高	4,237	438	422	5,098	(323)	4,775
営業費用	4,094	432	423	4,950	(323)	4,627
営業利益	142	6	1	148	(0)	148

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は は全社	連結
売上高	2,395	576	643	3,614	(487)	3,126
営業費用	2,220	535	558	3,313	(487)	2,826
営業利益	174	41	84	300	(0)	300

(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は は全社	連結
売上高	13,893	1,871	1,886	17,651	(1,314)	16,336
営業費用	12,839	1,780	1,717	16,337	(1,295)	15,041
営業利益	1,054	90	169	1,313	(18)	1,295